

研究主題 課題を見いだし、解決に向けて主体的に話し合う児童の育成
 ～学級活動（１）における、問題を見付け、意見を比較し認め合う工夫を通して～

I 主題設定の理由

学習指導要領解説総則編では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして「問題発見・解決能力」の育成が求められており、特別活動における集団や自己の生活上の課題に取り組むことを通じて、各教科等で身に付けた力が統合的に活用できるようにすることが重要であると示されている。これは、第12次沼田市教育水準向上研究<第4年次>推進計画においても指導の重点の一つとしている。

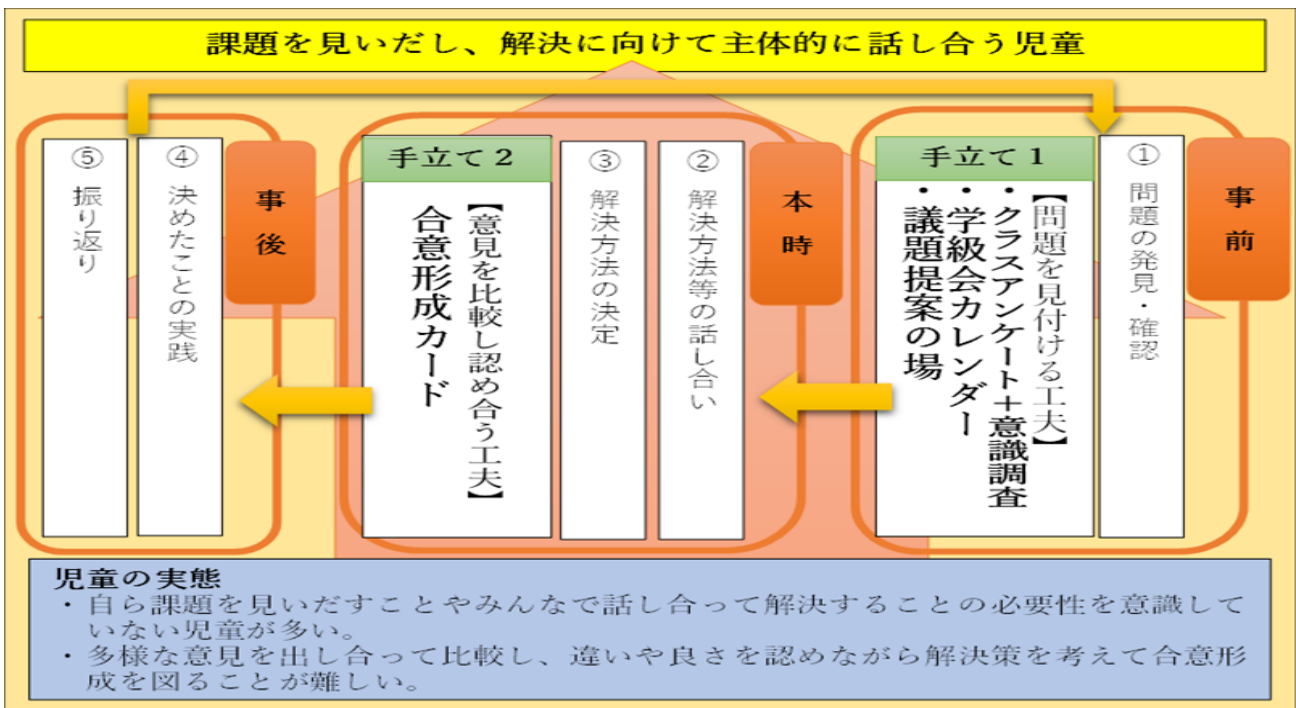
学校ではこれまでも、学級活動（１）において、計画委員や学級委員を中心に学級会を行い、学級や学校における生活上の諸問題の解決に取り組んできた。しかし、よりよい学級にしたいという思いはもっていても、そのための課題を見いだすことやみんなで話し合っ解決することの必要性を意識せず過ごしている児童が多く、児童から議題が提案されることは少ない。また、話し合いの場面では、学級の課題を自分事として捉えられず、話し合いで解決することに対する目的意識の低い児童や、自分の意見を押し通そうとする児童も見られ、多様な意見を出し合っ比較し、違いや良さを認めながら、学級全体としてよりよい解決につながる意見を提案するなどして解決に向けて話し合うことが難しいこともある。

そのため、本研究では、学級や学校生活には自分たちで解決できる課題があること、その課題を自分たちで見いだすことが必要であることに気付かせるために、ICTを活用した学級生活を見つめ直す毎月の「クラスアンケート」や、行事や学級会の予定を書き入れた「学級会カレンダー」の活用を一連の過程の中に位置付ける。また、話し合いの充実に向け、一人一人が自分の考えをもち、多様な意見を生かして比較・吟味しながら解決策を考え、合意形成を図ることができるようにするために、「合意形成カード」の作成と活用をする。そして、その方法や手順を身に付けることができるように、この過程を繰り返すことで、問題発見・解決能力の育成を図りたいと考えた。

以上のことから、問題を見付け、意見を比較し認め合う工夫を通して、課題を見いだし、解決に向けて主体的に話し合う児童の育成を目指し、本主題を設定した。

II 研究の内容

1 研修構想図



2 授業改善に向けた手立て

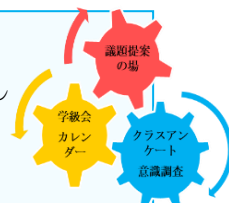
本研究では「①問題の発見・確認」「②解決方法等の話し合い」「③解決方法の決定」「④決めたことの実践」「⑤振り返り」の過程を繰り返す中で以下の手立てを講じ、課題発見・解決能力の育成を図る。

【手立て1】問題を見付ける工夫

学級活動においては、児童が自主的に問題を発見し、解決していく姿が見られることが望ましい。具体的には「①問題の発見・確認」の場面において、以下のように、大きく3つことを相互に関連させながら実践を行う。なお、それぞれの形式や活用方法については、学年・学級の実態に合わせて工夫し、柔軟に扱うこととする。

「クラスアンケート」+「意識調査」の実施

- ・学級目標や児童会目標、日常生活などに関する項目からなる「クラスアンケート」（※各実践例に掲載）を毎月行い、学級や学校での生活をよりよくするためにみんなで取り組みたいことを考えることができるようにする。
- ・ロイロノートスクール（以下、ロイロノート）のアンケート機能を用い、結果を視覚化して提示することで、学級の状況を分析的に捉えられるようにする。
- ・クラスアンケートの結果から見てきた問題についてのより詳しい意識調査を行い、課題をはっきりさせたり、課題解決に向けての学級全体の思いを共有したりできるようにする。



「学級会カレンダー」の作成

- ・行事予定や学級会の日程を書き入れた「学級会カレンダー」を作成し、学級会コーナーに掲示したり、1人1台端末で配信したりして、学級の話合いが必要な行事等への気付きを促すとともに、学級会や行事への見通しをもって活動が展開できるようにする。

「議題提案の場」の設定

- ・いつでも議題を提案できる場を常設し、よりよい学級づくりへの意識を高め、学級生活の問題発見を促す。

【手立て2】意見を比較し認め合う工夫

学級会においては、多様な意見を出し合い、比べ合い、認め合いながら問題解決に向けて話し合うことが重要である。具体的には「③解決方法の決定」の場面において、以下のような「合意形成カード」（図1）を作成して活用する。

<p>新しい考えをつくる</p>	<p>意見を合わせる</p>	<p>優先順位を決める</p>	<p>条件をつける</p>
<p>少しずつ、全部</p>	<p>共感的に理解し、ゆずる</p>	<p>多数決</p>	<p>※意見が十分出し尽くされた状態で、多数決を行うことを全員が承認した場合に限り使用することを事前に確認しておく。</p>

図1 合意形成カード

- ・自分と異なる意見や少数意見も尊重し、多様な意見を比較・吟味しながら解決策を考える手掛かりとなるよう、合意形成のプロセスの例を視覚的に表現した「合意形成カード」を黒板に掲示したり、児童に配付したりして活用を促す。自分の考えを通すことや安易な多数決で決定することなく、折り合いを付け、集団として意見をまとめていくことができるようにする。

Ⅲ 成果と課題

1 成果

(1) 手立て1「問題を見付ける工夫」に関わる成果

- ・クラスアンケートを定期的に行うことがきっかけとなり、学級をよりよくしていくために話し合いが必要な学級の課題を見付けることを意識して過ごせるようになった。(図2)
- ・クラスアンケートから学級で話し合うべき問題が見えてきたため、そのことについての意識調査を行うことで、児童の思いを把握することができた。それを学級全体で共有したり、めあてに落とし込んだりして、学級会を実施することができた。
- ・学級会カレンダーを学期分掲示することで、見通しをもって生活し、学級会で話し合いたいことや、以前の議題に対する実践後の振り返りや改善点についての話し合いを提案したり、その時期に話し合いが必要な議題は何かを考えて提案したりする姿が見られるようになった。
- ・議題を提案できる場を常設することで、クラスアンケートや学級会カレンダーを活用して見つけた課題を、気軽に提案できるようになり、自分たちの提案をもとに学級会を開き、合意形成を図って集団決定したことを実践していくプロセスを経験して、さらに学級をよくしていきたいという意欲が高まって、議題を提案する児童が増えた。(図3)

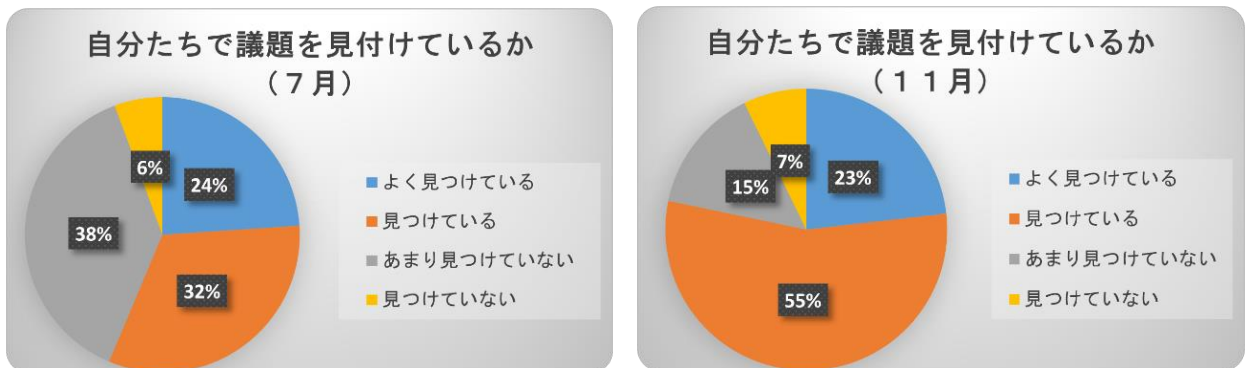


図2 手立て1に関わるアンケート調査結果①

【調査対象】 所員・研究員担当クラス児童73名（以下同様）

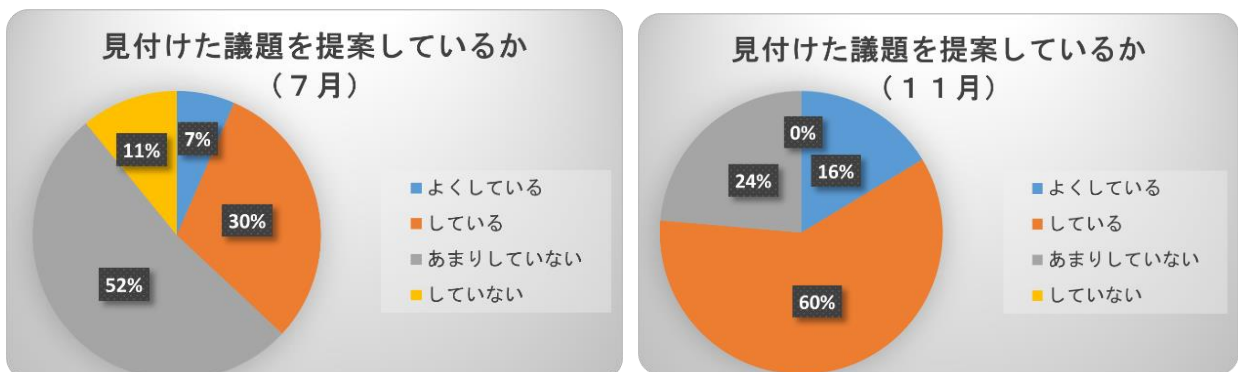


図3 手立て1に関わるアンケート調査結果②

(2) 手立て2「意見を比較し認め合う工夫」に関わる成果

- ・7月に行ったアンケート調査結果より、わずかではあるが、意見を比べながら聞いている児童が増加した。また、比べながら聞くことができていない児童は、11月のアンケートでは0%となり、他者の意見に関心を持ち、比べようという意識が高まったと考えられる。(図4)

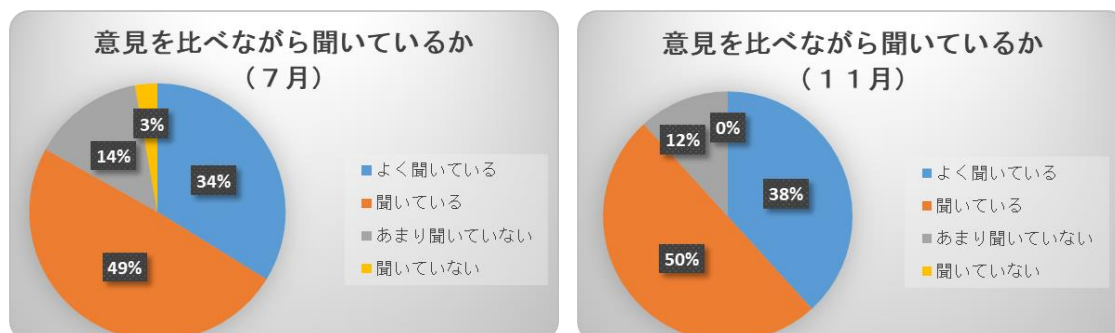


図4 手立て2に関するアンケート調査結果

- ・自分と異なる意見や少数意見も尊重する姿や、他者の意見も比較しながらよりよい解決策を考えようとする姿が見られるようになった。自分の考えを通すことや安易な多数決で決定するのではなく、合意形成カードを見ながら、出された意見のよさを生かす方法を考えたり、新しい考えを生み出したりしながら、集団として意見をまとめていくことができるようになってきている。
- ・記述式の回答でも以下のような変容が見られ、合意形成カードを使って話し合うことのよさを実感し、話し合いが充実してきていることが分かる。合意形成のプロセスの例を視覚的に表現した「合意形成カード」を用いたことが有効であったと考えられる。

○話し合いで意識していることは何ですか。

() 内の数字は学年

< 7月 >	< 11月 >
<ul style="list-style-type: none"> ・うなづく。(5) ・話をよく聞く。(5) ・質問をする。(5) ・自分の意見が採用されるように頑張る。(3) ・意見をたくさん発表する。(3, 5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と友達の意見はどう違うか考える。(3, 6) ・意見を比べる。(5) ・友達の意見をよく聞く。(3, 5, 6) ・合意形成カードを使う。(5) ・めあてに沿って話す。(6)

*自己中心的な意見から、合意形成を意識したり、他者の意見を尊重したりする意見が増えた。

○友達と意見が違っているときは、どうしていますか。

< 7月 >	< 11月 >
<ul style="list-style-type: none"> ・多数決をする。(3, 5) ・人が多かった方の意見に移動する。(3) ・我慢したり、諦めたりする。(3, 5, 6) ・自分がその意見になるように言い聞かせる。(6) ・自分と同じ意見になるように説得する。(3, 5, 6) ・質問をする。(5) ・自分の考えを見直す。(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見の似ているところを探す。(3) ・相手の意見のいいところを探す。(6) ・相手の意見がいいなと思ったら譲る。(3, 5) ・カードを使って似ている意見を合わせたたり、新しい考えを作ったりできないか考えたりする。(3, 5, 6) ・合意形成カードを使ってみる。(5)

*集団として意見をまとめるために、合意形成を意識した主体的な活動が多く見られるようになった。

○合意形成カードを使った感想 <11月のみ>

<3年生>

- ・最初は多数決で決めることが多かったけれど、色々なカードを使って考えられたのでよかった。
- ・多数決で決めていた時は嫌な思いをしてしまう子がいたけれど、7種類のカードを使ってみんなで話し合いをすれば、みんな納得してくれるから、カードを使ってよかったと思った。
- ・みんなの意見をまとめながら話し合いができたので、よかった。
- ・カードを使って色々な意見を新しく作れたので、カードを使うといいなと思った。
- ・カードを使うのは難しいかなと思ったけれど、使ってみたら楽しく話し合いができた。
- ・友達と意見が違うとき、このカードを使って決められて助かった。

<5年生>

- ・多数決以外にみんなで決めることができよかった。
- ・言い合いがなくなって、早く意見がまとまるようになった。
- ・合意形成カードがある方が早く進んで平等に決まっていと思う。
- ・意見がまとまりやすくなって決まるようになった。
- ・悩んだときに合意形成カードを使うことで、話し合いが進みやすくなった。
- ・最初よりもいいアイデアが出てくるようになった。
- ・自分の言いたいことが言いやすくなった。
- ・簡単に友達と自分の意見を合わせることができるからいいと思う。
- ・話し合いの仕方が分かりやすく書かれているから便利。
- ・いろんな（合意形成の）種類があって、話し合いが深まった。

<6年生>

- ・カードを見て、「あ、こうすればいいのか」と納得することがありました。
- ・新しい考えが出てきて、楽しかった。
- ・相手の意見に共感して、ゆずるなど新しい考えが出た。
- ・カードを意識して周りと話せた。
- ・意見を二つにしようと思っていたことがカードに書かれていてびっくりした。また使いたい。

2 課題

- ・クラスアンケートを定期的に行うことで児童の意識が高まり、学級の問題に広く目を向けられるようになったが、提案される議題の内容には偏りがあり、議題として望ましくないものもあった。議題を選定する経験、学級会で話し合ってみるみんなで取り組んでみてよかった経験、課題は次へ生かす経験等を積み重ねる中で、学級会で話し合うべきことについて理解を深められるように指導していく必要がある。
- ・議題を提案できる場を常設したことでたくさん提案する児童が増えた一方、ほとんど提案しない児童もいる。アンケート結果や日記、普段の様子やつぶやきから声を拾うなど、提案をしていない児童の思いや考えも見取って働きかけていく必要がある。
- ・学級会における教師の役割を十分理解し、児童の発達の段階に応じた適切な支援、指導・助言ができるよう努めるとともに、計画的・継続的な指導を行う必要がある。

IV 研究の実践

実践例1 3年 学級活動

沼田市立沼田北小学校 教諭 荒木 麻弥

1 議題 「マラソン大会の練習方法を考えよう」〔学指要領：(1)ア〕

2 議題の構想

(1) 育成を目指す資質・能力及び児童の実態



	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや他者と協働して取り組 むことの大切さを理解し、合意形成の手 順や活動の方法を身に付けるようにす る。	・友達と協力したり、助け合ったりする ことの大切さを理解している児童が多 い。 ・話合いの進め方に沿って話し合うが、 折り合いが付けられない児童もいる。
思考力、判断力、 表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための 課題を見だし、解決するために話し合 い、多様な意見を生かして合意形成を図 り、協働して実践することができるよ うにする。	・課題を児童自ら見いだしたり提案し たりすることは少ない。 ・多様な意見を生かして合意形成を図 ることが難しい場面も見られるが、決ま ったことは実践できる児童が多い。
学びに向かう力、 人間性等	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践す る活動を通して身に付けたことを生か し、学級や学校における人間関係をより よく形成し、他者と協働しながら日常生 活の向上を図ろうとする態度を養う。	・友達と協力し合い、仲良くしようと心 がけ、一緒に遊んだり、助け合ったり する児童が多いが、自主的に活動に参 加できない児童もいる。

(2) 評価規準

知識・技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ て解決することや他者と協働して取り組 むことの大切さを理解し、合意形成の手 順や活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	・学級や学校の生活をよりよくするための 課題を見だし、解決するために話し合 い、多様な意見を生かして合意形成を図 り、協力して実践している。
主体的に学習に 取り組む態度	・学級生活をよりよくするために、見通し をもったり振り返ったりしながら、自 己の考えをもち、役割を意識して集団 活動に取り組もうとしている。

(3) 指導及び評価、共通実践する手立て

過程	日時	主な活動	目指す児童の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	9/26	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスアンケート調査の結果、行事予定、議題箱の提案を もとに、計画委員会で議題を選定した。 (あ)・毎月のクラスアンケートの設問に、2学期の行事につ いての意識調査を行う項目(*)を加えた。 ・クラスアンケート結果から見付けた課題(マラソン大 会)についての意識調査(図1)を実施して、児童の 願いや思いを把握したり共有したりした。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「クラスアンケート」の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は楽しいですか。 ・自分から挨拶をしていますか。 ・みんなで遊んでいますか。 ・無言(自問)清掃をしていますか。 ・宿題(自主勉強)をしていますか。 ・読書をしていますか。 ・毎日運動していますか。(外遊びも含む) ・(学級目標や児童会の目標に関する項目) ・クラスで話し合いが必要だと感じることはありますか。 <p>*マラソン大会(運動会・バス旅行)は楽しみですか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会への見通しをも ち、目的に合った意見を考 えて記入する等、意欲的に取 組もうとしている。 (思)(主)〈ワークシート〉 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>図1 マラソン大会の意識調査</p> <p>①マラソン大会は楽しさ ②マラソン大会のイメージ ③マラソン大会のめあて ④どんなマラソン大会にしたいか (②～④の結果は本時の展開参照)</p> </div>

	<p>(い)・2学期分の主な行事予定を記入し、学級会が開かれる日に印をつけたカレンダーを掲示した。(図2)</p> <p>(う)・常設している議題ポストに出された議題を分類した。(図3)</p>	<p>・議題ポストに投稿する用紙は、テーマごとに4色に色分けした用紙を準備した。それにより、どのような視点で提案すればよいかが可能になった。</p> <p><用紙の色分け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなでしたいこと、 ・みんなで作ってみたいこと ・学級生活がもっとよくなること ・以前の活動の課題になったこと ・みんなにお願いしたいこと ・みんなで解決したいこと
	  <p>図2 学級会カレンダー</p> <p>図3 議題ポスト</p>	
	<p>9/29</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全員で議題を決定した。 	
	<p>10/2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会で活動計画を作成し、提案理由等を確認した。 <p>10/4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級会に向けて、ワークシートに自分の考えをまとめておいた。 	
本時	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を計画委員が発表した。 ・練習案について考えを発表した。 ・提案された内容について共通点や相違点を確認し、分類・整理して、練習内容を決定した。 <p>(a)・班ごとに意見を出し合い比べる場面では、7枚のカードを1セットにしたものを各班に1つ渡し、その中から自由に選んで意見をまとめるために活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に7枚を掲示しておき、常に確認できるようにした。 ・意見をまとめる時に迷った場合や、話し合いが止まった場合は活用できそうなカードを示して助言した。 ・合意形成できた時には、どのカードを活用できたかを確認し、学級全体で、提案者の思いを大切にしながら話し合ったことを認めて実践への意欲を高めた。 	※展開参照
事後	<p>10/11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割ごとに協力して準備をした。 <p>10/13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習計画にそって、実践した。 <p>随時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の練習を実施して感じた活動の良さや改善点を次の活動に生かした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合意形成したことをもとに協力して活動に取り組み、自他のがんばりに気付いている。(思) (主) <観察・振り返りカード、アンケート>

- * 【手立て1】 問題を見付ける工夫 (あ) クラスアンケート (い) 学級会カレンダー
(う) 議題を提案する場 (議題ポスト)
- * 【手立て2】 意見を比較し認め合う工夫 (a) 合意形成カード

(4) 議題選定の理由



毎月行うクラスアンケート結果から、マラソン大会に対して不安を抱いている児童が多いことが分かった。また、議題ポストへの提案では、運動会に向けた取組を振り返り、そのときの達成感から、「次はマラソン大会に向けて、運動会のとくのように、みんなで協力し合って練習をしたい。」という思いが高まっている様子が見られた。本議題について話し合っ、練習方法を考えて実践することを通して、マラソン大会への意欲を高めることができるとともに、協力してよりよい学級生活をつくっていくとする自治的能力を育成できると考え、本議題を設定した。

3 授業の実際

(1) ねらい これまでのマラソン大会や運動会練習での経験を根拠として、みんなで計画を立てて練習する良さや問題点を話し合うことを通して、マラソン大会の練習で行う内容について合意形成を図り、集団決定できるようにする。

(2) 展開

【★共通実践する手立てに関する事項】

<p>主な活動 児童の反応 [S]</p>	<p>○指導上の留意点 ◆目指す児童の姿（観点）</p>
<p>1 事前に決定した議題や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><児童が発表した提案理由></p> <p>私は、マラソン大会に向けて、マラソンが嫌いな人も楽しく走れるようにしたいから、議題ポストに提案カードを入れました。他にも7人からカードが出されていて、「嫌いな人も楽しく走れるようにしたい。」「マラソン大会が不安な人を減らしたい。」「一人じゃできないから、みんなで一緒に練習したい。」という意見がありました。</p> <p>休み時間にみんなで一緒に練習したら楽しいし、不安な気持ちも減ると思って提案しました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて></p> <p>思い出に残るマラソン大会にするために、みんなで協力して、練習方法を考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><事前に決めたマラソン大会のテーマ></p> <p>最後は笑ってゴー——ール！！ チーム3の1 なかよく練習 Let's Run! 最高の思い出を残そう！</p> <p>S:嫌だなと思っている人がこんなに多いんだね。 S:頑張りたいという気持ちがあるのは、同じだね。</p> </div>	<p>○見通しをもって話し合いに参加できるように、クラスアンケートの結果や提案理由を提示し、マラソン大会に対する学級全体の思いを共有した。</p> <p style="text-align: right;">【★クラスアンケート】</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>図4 クラスアンケートと意識調査結果の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>マラソン大会の意識調査の結果から、他の行事と違い、マラソン大会は楽しみではないと感じている人が多いことが分かった。マラソン大会に対しては、楽しみにしている人もいるが、マイナスな意見が多かった。しかし、めあてを聞いてみると、頑張りたい、楽しみたいと思っている人が多いことも分かった。グラフや児童が書いたカードを提示したことにより、目的意識をもって話し合いに参加することができた。</p> </div>
<p>2 マラソン大会に向けた練習方法について、考えや理由を班で話し合い、班の意見をまとめる。(10分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><班活動の手順></p> <p>①事前に記入したワークシートをもとに、自分の意見を発表し、班で共有する。 ②合意形成カードを活用して、班の意見をまとめる。 ③短冊に記入する。</p> <p>合意形成カードを使って班の意見をまとめるため、友達の発言にしっかりと耳を傾けている様子が見られた。また、班の意見をまとめる際、手元に7枚のカードを準備しておくことで意見をまとめる際の手助けになり、誰かの意見に決めてしまうのではなく、互いの良さを生かしてまとめていく姿勢が見られた。</p> <p>S:ドッジボールと校庭1周という意見があるね。この二つを使うために「新しい考えを作る」カードが使えるよ。</p> </div>	<p>○意見を十分ださせてから、合意形成カードを活用して班の意見をまとめるよう助言した。</p> <p>○自分の意見に固執せず、他の人の意見を聞いて納得をして考えを変えるなど、折り合いをつけることの大切さについて伝えた。</p> <p>○合意形成カードを7枚1セットで各班に1つずつ配付し、自由に選んで活用できるようにした。</p> <p style="text-align: right;">【★合意形成カード】</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>図5 合意形成カードを使って班で話し合う様子</p>

3 班の意見を全体で共有し、話し合いのめあてを基に共通点や相違点を確認し、意見を分類したり整理したりする。(15分)

各班から意見が出されたあと、共通点や相違点を確認して一つにまとめたり、比較・分類して整理したりする場面で、黒板に貼ってある合意形成カードを活用した。

合意形成カードを使って、マラソン大会に向けた練習方法を学級全体で決定していくために、児童は互いの意見の良さに目を向けたり、出来るだけ多くの意見の良さを生かす方法を考えたりして、発言することができた。

S:自分に合った練習を選べるように、いくつかのコースに分かれるのがいいと思います。

S:コースを分けて、いくつかの練習方法の中から選べるようにする案に賛成です。「意見を合わせる」のカードを使って、コースごとの練習内容を決めればいいと思います。

○話し合いの視点がそれた際は、話し合いを焦点化できるように、提案理由や本時のめあてを確認するよう助言した。

○司会に、出された案がクラスのみならず取り組めるような内容になっているかを問いかけさせた。

○合意形成カード7枚を黒板に掲示し、意見を比べ合い、認め合いながら、できるだけ多くの意見の良さを生かす方法を考えるよう促した。迷った場合や話し合いが止まった場合は、活用できそうなカードを示して助言した。【★合意形成カード】



図6 共通点や相違点を確認し、意見を分類したり整理したりする場面

4 運動会の練習で感じた達成感を基に、マラソン大会に向けた練習方法を、学級全体で決定する。(15分)

各自のペースに合わせて選べる日、全員で練習する日が設けられ、お互いの意見の良さを生かして合意形成を図れたことで、マラソンが好きではない児童も含め、多くの児童が練習に対して意欲的な気持ちになれた。

S:「意見を合わせる」カードを使って、1周走ってからおにごっこをすれば、マラソンが苦手な人でも楽しめるし、走る練習にもなると思います。

S:コースに分かれて練習する日と、全員で練習する日に分ければ、自分に合った練習もできるし、みんなで楽しむ日もあっていいと思います。

S:合意形成カードを使ってみんなで考えた方法から練習メニューを決めて、実行委員が練習計画を立てていくので、一緒に頑張りましょう。



図7 全体で決定していく様子

○自分たちで練習方法を決められたよさを実感し、意欲を高められるように、折り合いをつけて合意形成を図れたことを称賛した。

◆目指す児童の姿(思)

話し合いやワークシートの記述内容から、「意見を比べ合い、できるだけ多くの意見の良さを生かす方法を考えられたか」を評価する。

<振り返り>

S: マラソン大会がいやだったけど、この学級会のおかげでマラソン大会が少し楽しみになりました。

S: マラソン大会の練習や本番をがんばりたいです。違う班もいい意見が出ていたので、よかったと思いました。

S: 意見がたくさん出て、カードをうまく使えてよかったです。次の話し合いもいい意見がたくさん出るといいです。

S: みんないい意見が出ていいと思いました。マラソン大会の練習を楽しくできると思います。いいマラソン大会になると思います。

【事後】 全員で練習する日と、コースを選んで練習する日を設けて、多くの児童が意欲的に参加していた。休み時間になると、実行委員がその日の練習メニューを黒板に貼りだし、誘い合って練習をする姿が見られた。本番では、走る前にお互いに励まし合ったり声を掛け合ったりしている姿が見られ、緊張しながらも、これまでの練習やマラソン大会のテーマを思い出して、精一杯頑張ろうと前向きな気持ちで参加できた児童が多かった。

<マラソン大会に関する事後アンケートより>

- | | | |
|----------------------|------------------|--------------|
| ・マラソン大会の練習に参加しましたか。 | した：100% | しなかった：0% |
| ・マラソン大会の練習は楽しかったですか。 | とても楽しかった：76.2% | 楽しかった：23.8% |
| ・マラソン大会は楽しかったですか。 | とても楽しかった：52.4% | 楽しかった：28.6% |
| | あまり楽しくなかった：14.3% | 楽しくなかった：4.8% |

<マラソン大会の振り返り作文より>

- ・みんなで練習をすることになった時は、本当に外に行くのも嫌だったのに、みんなで決めた練習なので一回参加してみたら意外と楽しくて、ほぼ毎日20分休みもお昼休みもクラスの練習に参加しました。マラソン大会が終わった今でも時々やったりするので、あのみんなで考えた練習をした日々はマラソンの練習にもなるし、私が外に行くようになる魔法だったのかなと思いました。練習も本番も最高の思い出になりました。
- ・最初、マラソン大会なんてどうでもいいと思っていたけど、友達と一緒に考えて決めた練習は楽しそうだったので、やってみたらとても楽しくて、毎日やったし、普段は外にいかない人もたくさん参加していて、すごかったです。2年生の頃の記録を超したいと思えました。

4 成果と課題

(1) 成果

①手立て1に関わる成果

- ・毎月のアンケート結果から見付けた課題（マラソン大会）に関しての意識調査を実施することで、児童の願いや思いを把握したり共有したりすることができた。
- ・事前のアンケート結果を分析し、実行委員が事前に提案理由やめあてを決めてワークシートに記入しておいたり、導入の場面で提示したりしたため、児童が議題を自分事として捉え、意欲的に話合いに参加することができた。
- ・学級会カレンダーを掲示することで、見通しをもって議題を見つけようとする姿が見られ、マラソン大会前には議題ポストの提案カードで、「みんなでしたいこと」（赤）、「みんなにお願いしたいこと」（緑）で、マラソン大会に関する議題が複数枚提案されていた。
- ・学級会に関する決定事項も記入していくことで、友達と事前に議題について話し合うなど、議題を意識して過ごしている様子が見られた。
- ・休み時間などを利用して、思いついた時に気軽に提案できる場になっていたため、積極的にカードを記入する姿が見られた。

②手立て2に関わる成果

- ・お互いの意見を比べ合い、認め合いながら話し合いを進めるために有効だった。
- ・カードを使って合意形成していくので、自分の意見を発表するだけでなく、相手の話を聞くことを意識することができていた。
- ・話合いが止まってしまった時に、合意形成カードを頼りにみんなで何とかしようという様子が見られた。

(2) 課題

- ・7種類の合意形成カードの使い方（提示する枚数やタイミング）を吟味する必要がある。
- ・合意形成カードを使って意見をまとめることを意識しすぎて、それぞれの意見を提案する理由までしっかりと発表する時間がもていなかった。
- ・議題ポストに提案される議題と年間指導計画との兼ね合いを考慮して調整し、議題選定していく必要がある。

1 議題 「音楽発表会に向けて練習計画を話し合っ決めてよう」〔学指要領：(1)ア〕

2 議題の構想

(1) 育成を目指す資質・能力及び児童の実態




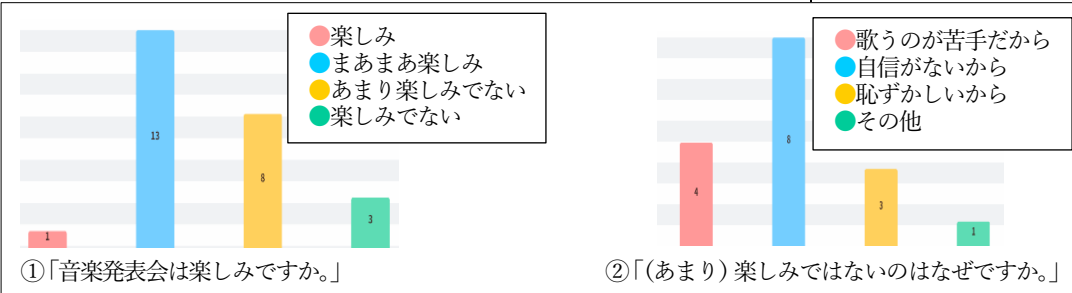
	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。	・今までも学級活動や国語科の学習で、学級で諸問題について話し合い、決定する活動はしている。 ・意見をまとめるときには、安易に多数決を用いて決定していることが多い。
思考力、判断力、表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。	・課題を児童自ら見いだすことは少ない。話し合いの時には出た意見に対して、根拠をもって賛成反対の意思を示すことができるが、意見をすり合わせたり、よいところを合わせたりということは難しい。
学びに向かう力、人間性等	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	・決められたことや指示されたことを守りしっかり行動できる児童は多いが、自ら考えて行動できる児童は少ない。 ・男女ともに仲がよく、互いに協力できる児童が多い。

(2) 評価規準

知識・技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

(3) 指導及び評価、共通実践する手立て

過程	日時	主な活動	目指す児童の姿(観点)〈評価方法〉
事前	9/29	(あ)・毎月のクラスアンケートの設問に行事についての意識調査を行う項目を加えて実施した。	・学級の諸問題を見いだそうとしている。 (主)〈観察・ロイロノート〉
		<p>「クラスアンケート」の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は楽しいか。 ・自分からあいさつをしているか。 ・みんなで遊んでいるか。 ・無言清掃・気づきの清掃はできているか。 ・家庭学習は決められた時間でできているか。 ・自主勉強をしているか。 ・読書をしているか。 ・毎日運動をしているか。 ・みんなでやりたいことや提案したいこと。 	
	10/5	<ul style="list-style-type: none"> ・10、11月の行事予定表や、クラスアンケート、議題ポストの結果を見ながら、学級会で話し合いたいことを出し合っった。 (あ)・クラスアンケート結果を共有することで、学級の現状を把握した。 (い)・ロイロノートで全員に配布した、10、11月の行事予定を見ることで見通しをもった。学級で話し合いたい議題を理由とともにカードにまとめ、カレンダーに入れて提出した(図1)。 (う)・常設している議題ポスト(図2)に出された議題を分類した。 	

				
		<p>図1 議題を提案したカレンダー</p>	<p>図2 議題ポストと議題提案カード</p>	
	10/12	<p>(い)・学級委員中心に議題を選定し、学級会カレンダーを作成した。 ・全員から提出されたカレンダーを整理し、議題を選定した。議題選定の過程と決定した議題は教室に掲示し、周知した。(図3)</p>		
	10/13	<p>(あ)・クラスアンケート結果から見付けた課題(音楽発表会)に関する意識調査(図4)を実施して、児童の思いを把握したり、共有したりした。</p>		<p>図3 学級会カレンダー</p>
		 <p>①「音楽発表会は楽しみですか。」</p> <p>②「(あまり)楽しみではないのはなぜですか。」</p>		
		<p>③「どんな音楽発表会にしたいですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しめる音楽発表会(11人) ・大きな声で歌えるといい(3人) ・間違えないで上手に歌いたい(3人) ・きれいな歌声で歌えるように(2人) ・心を込めて歌う ・心に残る音楽発表会 ・ミスをして嫌な空気を作らない ・みんなが喜んでくれる音楽発表会 	<p>④「③のようにするには、何をしたらよいと思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習する(授業で歌う、いっぱい歌う)(8人) ・歌い方のポイントを確認する ・歌うが苦手でも歌う ・声を大きく歌う ・スローガンを決める 	
		<p>図4 音楽発表会の意識調査</p>		
	10/16	<p>・学級会に向けて、自分の考えをまとめた。</p>		
本時	10/17	<p>・音楽発表会に向けて、練習方法を話し合った。 (a)・班ごとに意見を出し合い、比べる場面では、7枚のカードを1セットにしたものの中から自由に選んで、意見をまとめるために活用した。</p>		<p>※展開参照</p>
事後	10/17 ～ 11/7	<p>・決めたことを実践した。 ・音楽発表会本番で歌った。 ・活動を振り返り、学級で共有した。</p>		<p>・決めたことを意識して実践している。 (思)〈観察・振り返りカード〉</p>

- *【手立て1】問題を見付ける工夫 (あ) クラスアンケート (い) 学級会カレンダー (う) 議題を提案する場(議題ポスト)
- *【手立て2】意見を比較し認め合う工夫 (a) 合意形成カード

(4) 議題選定の理由

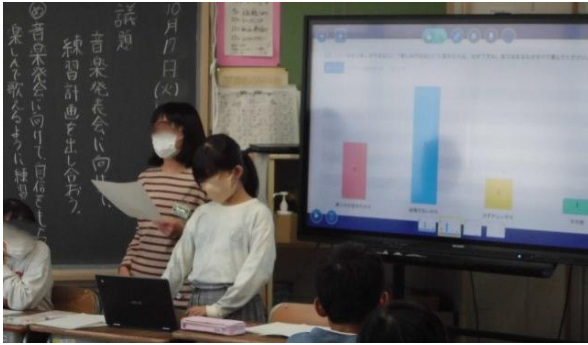

11月に音楽発表会があり、本学年が学校代表として参加することになっている。しかし、ここ数年は上級生の取組に触れる機会がなかったために、発表会や練習の様子も分からず、また、控えめで表現が苦手な児童が多い本学級では、学校代表ということにも不安を感じている児童が多い。発表会に向けて自分たちでできることを考え話し合うことで、発表会までの見通しがもて、不安を解消できるとともに、練習に向かうモチベーションを高めることができると考える。また、より学級で協力することができるようになるとともに、この経験が児童たちの自信になると考え、本議題を設定した。

3 授業の実際

(1) **ねらい** 音楽発表会に対する思いを基にして、どのような練習ができるか、それぞれの案のよさや問題点について話し合うことを通して、練習計画について合意形成を図り、集団決定できるようにする。

(2) **展開**

【★共通実践する手立てに関する事項】

<p>主な活動 児童の反応〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆目指す指導の姿（観点）</p>
<p>1 事前に決定した議題や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p><めあて> 音楽発表会で、自信をもって歌えるように、練習計画を出し合おう。</p> <p><児童が発表した提案理由> 音楽発表会について、アンケートを取ったところ、半数近くの人が、「あまり楽しみでない」「楽しみでない」と答えました。その理由としては、「自信がないから」と答えた人が一番多かったです。また、「どんな音楽発表会にしたいですか」という質問には、「楽しめるような」という意見が多く、そのためには、「練習する」という意見が多かったです。そこで今日の議題を、「音楽発表会で自信をもって歌えるように、練習計画を出し合おう」と設定しました。</p> <p>アンケート結果を提示することで、話し合いの目的を確認することができた。</p>	<p>○見通しをもって話し合いに参加できるように、事前アンケート結果や提案理由を提案者である学級委員に発表させ、音楽発表会に対する学級全体の思いを問いかけた。</p> <p>【★クラスアンケート】</p> <p>○本時は「音楽発表会で自信をもって歌えるようにするためにどのような練習ができるか」についてたくさんの案を出し合って話し合ってもらいたいことを伝えた。また、出された案を基に実行委員が具体的な練習計画を立て、みんなで実践していくという今後の見通しを伝えた。</p>  <p>図5 学級委員が提案理由を発表する様子</p>
<p>2 音楽発表会の練習計画について、考えや理由を班で話し合い、班の考えをまとめる。（10分）</p> <p>S:休み時間は遊びたい人や委員会の仕事がある人もいると思うので、音楽の時間の最初に練習すると思います。</p> <p>S:文化会館のステージに近いから、体育館で練習するのがいいと思います。</p> <p>S:教室だと、隣の学年の迷惑になってしまうかもしれないから、音楽室で練習したらいいと思いました。</p> <p>S:朝の時間に練習すると思います。理由は、毎日ある時間だからいっぱい練習できると思ったからです。</p> <p>S:帰りの会で歌って帰ったら楽しそう。</p> <p>・1台の端末に班員の考えを集約しておくことで、それを囲みながら顔を合わせて話し合いを進めることができた。</p> <p>・手元に合意形成カードを置いておくことで、すぐに利用することができ、意見をまとめる手助けになった。</p>	<p>○各自が考えてきた練習計画を事前にロイロノートの提出箱に提出させ、班の人の考えを見られるようにした。</p> <p>○合意形成カード7枚1セットを各班に1つ配布し、自由に選んで活用できるようにした。【★合意形成カード】</p> <p>○合意形成の方法を意識できるように、意見をまとめたり提案したりするときには、合意形成カードの言葉を活用させるようにした。【★合意形成カード】</p>  <p>図6 合意形成カードを見ながら意見を出す様子</p>

S: 体育館で練習するのは、確かに本番と似ているからいいね。自信がもてるようになるためには必要だね。

S: 「教室で」って思ったけれど、ピアノがないよね。

S: 音楽のときは毎回練習したいよね。「音楽のとき」と「体育館で」という意見を合わせるのはどうかな。

S: 休み時間は委員会の仕事がある人もいますが、朝の会と帰りの会ならみんなそろっているよね。

短冊に決まった考えを書くことで、班の考えを整理することができた。

○班で話し合って決定した考えが、発表した後も黒板に残るように、短冊に書かせた。



図7 班の意見を発表用の短冊に書いている様子

○迷っている場合や、話し合いが止まっている場合は、活用できそうな合意形成カードを示して助言した。

【★合意形成カード】

3 班で出た意見を全体で共有し、意見を分類したり整理したりして、共通点や相違点を確認する。(15分)

S: 私の班では、「朝の時間」「音楽の時間」「教室で」「体育館で」…という意見が出ました。話し合いの結果、「合わせる」のカードを使って、「音楽の時間に体育館で練習する」となりました。理由は体育館にはピアノもあるし、音楽の時間ならたくさん練習できそうだからです。

S: 私たちの班は「休み時間」「朝の時間」「帰りの時間」…という意見が出ました。話し合いの結果、「ゆずる」のカードを使って「朝の時間や帰りの時間」になりました。理由は、休み時間は委員会や遊びたい人もいるだろうし、朝の時間と帰りの時間なら毎日あるから練習できると思ったからです。

大型モニターで班の中で出た考えを全体で共有することで、全員の考えが見られるとともに、まとめるまでの過程も共有することができた。

○班でまとめるまでの過程が伝わりやすいように、大型モニターでロイロノートの画面を提示して班の考えを説明させた。

○納得する話し合いができるように、理由を合わせて発表させるようにした。

○合意形成カードをいつでも見返して確認できるように、7枚のカードを黒板に常時掲示しておいた。

【★合意形成カード】

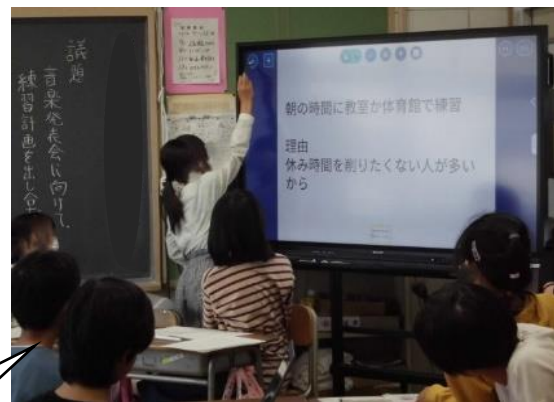


図8 班の考えを大型モニターで共有している様子

4 練習計画について、集団で合意形成を図る。(15分)

S: 1班と5班は「音楽室で」というのが同じだ。「体育館」という意見も多い。理由を聞くと両方必要だと思うな。

S: 場所は「音楽室」と「体育館」で決定しようだね。

S: 朝の時間や帰りの時間なら、毎日みんなそろって練習できそう。

○合意形成の方法を意識できるように、意見をまとめたり提案したりするときには、合意形成カードの言葉を引用させるようにした。

【★合意形成カード】

○黒板に各班の考えを短冊で残すことによって、意見を比較できるようにした。

○一枚の短冊に一つの考えを書かせることで、それぞれの考えを黒板上で動かせるようにし、比較、分類をしやすいうようにした。

S:たくさん案が出されて、それぞれ理由も納得できるので、あとは実行委員さんに細かい計画を立ててもらいたい練習ができそうだ。

班の考えを短冊に書いて発表したことで、意見の整理がしやすくなった。



図9 短冊を動かして意見を整理している様子

◆目指す児童の姿(思)

話合いや発表の内容から、「意見を比べ合い、多様な意見を生かし合意形成が図れているか」を評価する。

<振り返り>

S:グループで合意形成カードを使って、話し合いができた。「工夫して練習したら、みんなが楽しくなったり、音楽発表会が楽しみになるのかな」と思った。

S:最初は、あまり楽しみではなかったけれど学級会をしたことで前よりも楽しみになった。合意形成カードを使い、意見をまとめる事ができた。合意形成カードをもっと使いこなせるようになりたい。

S:音楽発表会の話合いをして音楽発表会のためにたくさん練習していきたいと思った。話し合いをしたから自信が少し前よりついたと思う。(緊張しても頑張っても下手くそでもなんとか歌い切りたい。)

S:音楽発表会に向けて、もっと練習してみんなが楽しめる音楽発表会にしたい。話し合いでは、合意形成カードを使って上手く話し合いができたと思う。

【事後】実行委員が練習計画を立て、音楽の時間や朝、帰りの時間、体育館など、時間や場所を工夫して練習している姿が見られた。計画された練習時間以外にも、伴奏者を中心に、自主的に練習を重ねていた。本番は緊張しながらも、「練習したから大丈夫だよ」と声をかけ合い、自信をもって歌えている様子であった。

<音楽発表会を終えての振り返りより>

- ・うまく歌えるか心配だったけど声を出して歌えたからよかった。みんなと歌っていたら楽しかった。
- ・最初よりもちゃんと声を出せていた。練習したから間違えずに一番よくできたと思った。
- ・当日まで、みんなで練習してきたから、本番で間違えずに歌えたんだと思います。中学生になって歌うときも、たくさん練習して間違えないように歌いたいなと思いました。
- ・みんなで練習をがんばって、本番では楽しく歌えた。みんなで歌えてやりきった感じ。

4 成果と課題

(1) 成果

①手立て1に関わる成果

- ・毎月のアンケートは、学級や自分の学校生活を振り返り、学級で共有することで、学級の課題を把握でき、児童自ら議題を提案することにつながるるとともに、学級目標や学校目標を振り返るきっかけになった。
- ・カレンダーに月の行事を示すことで、見通しをもて、議題にしたい話題を児童自ら見付けることができた。
- ・決まった議題を提示しておくことで、それについて意識して過ごすことができた。

②手立て2に関わる成果

- ・合意形成カードがあることで、自分の考えを言語化しやすい様子であった。
- ・話し合いが停滞したときには、カードをめくりながら考え、スムーズに話し合いを続けることができた。

(2) 課題

- ・「自信をもって歌えるようにするためには」と議題設定の理由に随時立ち返らせて考えさせることで、めあてに沿った意見が多く出され、より活発な話し合いになると考えられる。
- ・議題ポストは、活用する人とそうでない人の差があった。児童が主体的に活用していけるように働きかける必要がある。
- ・クラスアンケート結果から、解決したい課題がたくさん出るようになったが、すべてを学級会の議題にすることは難しいので、係や委員会、実行委員活動等との関連を図りながら解決していく必要がある。

1 議題 「楽しく全員笑顔で過ごせる交流タイムにしよう！」〔学習要領：(1)ア〕

2 議題の構想

(1) 育成を目指す資質・能力及び児童の実態

	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・一人一人の思いや願いを大切にしながら、「話し合うこと」について自分の考えを発表することができるようにする。	・意見を多く発言することができる。 ・自分の考えをもつことができるが、話し合いの場面では伝えられない児童もいる。
思考力、判断力、表現力等	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、実践することができるようにする。	・自分から意見を提案する機会は少ない。 ・多数決なしでの合意形成を図れる児童は少ない。
学びに向かう力、人間性等	・いろいろな意見の違いを認め合い、考えをまとめることができるようにする。	・友達の意見に対して、違いを認め合える児童が多い。

(2) 評価規準

知識・技能	・学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。
思考・判断・表現	・学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・学級や学校における人間生活をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

(3) 指導及び評価、共通実践する手立て

過程	日時	主な活動	目指す児童の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	9/1	(あ)・クラスアンケートを実施した結果から、行事予定や学級会で話し合いたい内容を基に、計画委員を中心に議題を選定した。	・第3回交流タイムについて見通しをもち、めあてや話し合いのポイントに沿って意見を考えて記入する等、意欲的に取り組んでいる。(思)〈カレンダー〉
	9/6	(い)・計画委員が学級会カレンダーを作成した。 (う)・議題ボードに、学級会カレンダーやアンケート結果から必要な話し合いを議題ボードに記入し、児童が必要と思う話し合いに磁石を貼った。	

「クラスアンケート」の項目

- ・学校は楽しいですか。
- ・自分から進んであいさつしていますか。
- ・読書はしていますか。
- ・無言自問清掃をしていますか。
- ・自主勉強をしていますか。
- ・読書をしていますか。
- ・毎日運動していますか。
- ・学級会で話したいことを教えてください。

計画委員が「みんなのことを教えてアンケート」として作成し、実施した。交流タイムやクラスでの遊び等について話し合いたいという意見があり、その意見を学級会カレンダーに記入することで、学級会に向けて計画的に進めることができた。

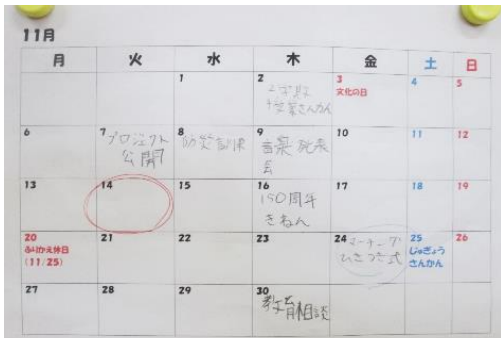


図1 学級会カレンダー

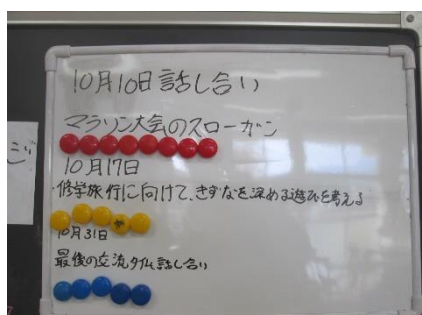


図2 議題ボード

	9/29	<ul style="list-style-type: none"> ・学級全体で議題の決定をした。 (い)・クラスアンケートの「学級会で話したいこと」に挙げられたものの中から決定し、計画委員がカレンダーに書き込んだ。 	<p>「どんな交流タイムにしたいか」を聞くことにより、交流タイムに対する思いなどが把握でき、それをクラス全体で共有することができた。第2回交流タイムの反省を踏まえて、児童と共にめあてや話合いのポイントをつくることができた。</p>
	10/2	<ul style="list-style-type: none"> (あ)・クラスアンケート結果から見付けた課題(交流タイム)についての追加の意識調査を計画委員が作成し、実施した。 	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>どんな交流タイムにしたいですか。</p> <p>一年生が優先的に楽しめて、一年生も六年生も笑顔になれて更に仲が深まる交流タイムにしたい。</p> <p>1年生が楽しめて、1年生と6年生の間にもっと絆が芽生える交流タイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が笑顔で終わるようにしたい ・みんなが納得する交流タイムにしたい ・みんなが楽しめる交流タイム ・やってよかったと思う交流タイム ・楽しく一年生が楽しくおられる交流タイムにしたいです。 ・前までとはちがく、より交流というところに目を向けていってほしい ・気持ちのいい交流タイムにしたい ・最後なのでパト終わりにできる交流タイムにしたいです ・一年生全員が楽しんでくれる交流タイムにしたい ・一年生と六年生が平等になるような交流タイムにしたい </div>	
		<p>図3 交流タイムの意識調査</p>	
	10/24	<ul style="list-style-type: none"> ・意識調査の結果を基に、めあてを作成した。 ・第2回交流タイムの振り返りから、今回の話合いのポイントを整理した。 	
	10/30	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてと話合いのポイントを提示し、ワークシートに自分の考えをまとめておいた。 	
本時	10/31	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由、めあて、話合いのポイントを計画委員が説明し、「第3回交流タイム」について話し合った。 (a)・全体で意見を出し合ったあと、席の近い数人のグループで話し合うときに7枚のカードを活用して意見をまとめた。 	※展開参照
事後	11/3	<ul style="list-style-type: none"> ・交流タイムをよりよくするための話合いや資料の作成をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決めたことを実践している。 (主)〈交流タイムの活動〉
	11/17	<ul style="list-style-type: none"> ・交流タイムを実践した。 	
	11/17	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りをした。 	

- *手立て① 問題を見付ける工夫 (あ) クラスアンケート (い) 学級会カレンダー
(う) 課題を提案する場 (議題ボード)
- *手立て② 意見を比較し認め合う工夫 (a) 合意形成カード

(4) 議題選定の理由

本校では、上学年が企画・運営して下学年と遊ぶ朝行事「交流タイム」を年3回行っている。前回(第2回)の交流タイムの振り返りでは、「1年生が取り残されていた」「6年生が周りを見て行動できなかった」「時間が間に合わない」等の反省が書かれていた。学級会カレンダー作成時やクラスアンケートからも、第2回交流タイムがうまく運営できず、1年生ではなく自分たちが楽しんでしまったので、次は成功させたい、そのために話し合いたいという声が挙がり、本議題を設定した。6年生として、最後の交流タイムをよりよくしたいという子どもたちの意識、問題発見・解決への意識が芽生えたと考える。

3 授業の実際

(1) ねらい 前回の交流タイムの成果や課題を踏まえ、活動案のよさや問題点について話し合うことを通して、次回の交流タイムで行う遊びや工夫について、意見を比べ合い、認め合いながら、集団決定できるようにする。

(2) 展開

【★共通実践する手立てに関する事項】

<p>主な活動 児童の反応〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆目指す児童の姿（観点）</p>
<p>1 事前に決定した議題や提案理由を確認し、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p><児童が発表した提案理由> 先日行ったクラスアンケートの項目の「学級会で話したいこと」には、交流タイムについての話し合いをしたいとの声が多く挙がりました。追加のアンケートの回答には、「笑顔」や「全員が楽しく」という言葉が多くありました。また、第2回の交流タイムでは、遊びの内容や1年生との関わり方で多くの反省が出ました。 その思いと今回のクラスの意気込みを踏まえて、この議題を提案し、めあてを設定しました。また、前回の反省から、1年生がもっと楽しめるように、「時間」「簡単」「仲が深まる」の3つのポイントを設定しました。</p> <p><めあて> 楽しく全員笑顔で過ごせる交流タイムにしよう！</p> <p><話し合いのポイント> 時間・簡単・仲が深まる</p>	<p>○問題の解決に向けてよりよい話し合いができるように、今回大事なところは何か、話し合いでどんなことを意識したらよいかを問いかけた。 ○活発に発言できるように、事前に作成した意見シートをうまく活用することを促した。 ○クラスアンケートや意識調査の結果や提案理由を提示し、交流タイムに対する学級全体の思いを問いかけた。 【★クラスアンケート】</p> <div data-bbox="794 779 1441 1205" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交流タイムについての意識調査から、計画委員を中心に話し合いのめあてを決めることができた。 また、第2回の交流タイムの反省から、話し合いに必要なポイントを3つに絞って提示することができた。</p> </div>  <p>図4 話し合いのめあてとポイント</p>
<p>2 事前に用意した意見シートを基に、交流タイムで行う活動について考えや理由を発表する。（15分）</p> <p>S：ぼくは「しっぽ取り」がいいと思います。 S：わたしは、「かくれんぼ」がいいと思います。 理由は前回の交流タイムを踏まえて、1年生も6年生も楽しめると思ったからです。 S：今回は仲が深まる交流タイムにしたいから、「二人で協力色鬼」がいいと思います。仲を深めるというポイントなので、二人で手をつなぎながら協力できると仲が深まると思ったからです。</p> <div data-bbox="220 1803 742 2072" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事前に意見シートを記入しておくことで、児童は積極的に発言をすることができた。 また多くの児童が理由までしっかり書いていたので、その後の話し合いにスムーズにつながっていた。</p> </div>	<p>○今回の議題・提案理由・めあてに沿った話し合いができるように助言した。 ○「1年生がもっと楽しめる」ということを踏まえて発言できるよう助言した。 ○話し合いが膠着した場合、近くの友達と相談する時間をつくるなど、話し合いがスムーズに行われるように支援した。</p>  <p>図5 近くの友達と話し合う様子</p>

3 話し合いのめあてを基に、意見の共通点や相違点を確かめ、賛成・反対の理由を述べながら話し合う。(15分)

S: わたしは、〇〇さんの意見に反対です。理由は、確かに、「おにごっこ」は全員が参加できるけど走力に差があって楽しめません。

S: めあてに沿って考えると、〇〇さんの「かくれんぼ」は待ち時間が多く、離れている時間も多いため仲が深まりません。

S: 〇〇さんの意見と自分の意見を合わせて「バナナ色鬼」をしたらいいと思います。

S: 自分は「かくれんぼ」を案として挙げていたのですが、めあてと、周りの人の意見を聞いて、今回は「かくれんぼ」はなしでお願いします。

全体での話し合いが膠着したとき、小グループでの2分間の話し合いを取り入れた。短時間、少人数での話し合いを挿入したことで、意見が広がるとともに、友達の見解も全体に共有することができた。また、合意形成カードが手元にあることで、新しい意見を生み出すことができた。折り合いをつけて意見を自分から取り下げたりする児童も見られた。

出された意見だけでなく、その理由も黒板に掲示しておくことで、意見を追加したり、いくつかの意見を合わせたりするなど、合意形成カードと関連させて発言する児童が増えた。

4 交流タイムの内容について学級全体で決定し、学級会について振り返る。(10分)

S: では今回の話し合いでは、「二人で協力色鬼」と「しっぽ取り」に決まりました。

S: しっぽ取りのしっぽの長さを変えるなどのルールは、計画委員が意見をまとめて説明をします。

「友達の見解を聞きながら」や「合意形成カードを使って」など、自分たちが設定しためあてや話し合いのポイントに沿った話し合いが多かった。また、多数決を使わず合意形成ができたことの振り返りも多かった。

○友達の見解を聞きながら、意見の共通点や相違点を見つけ、よりよい交流タイムになるよう助言した。

○合意形成カード(7枚)をグループに一つ渡しておき、必要に応じて活用を促し、自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言した。
【★合意形成カード】



図6 合意形成カードを使いながら話し合う様子

○出された意見を比較しやすくするために、ラミネートした短冊に書かせ、整理して並べさせた。



図7 話し合いで出た意見を黒板に整理している様子

○自分たちでめあてに沿った交流タイムが決められたよさを実感し、1年生に沼小を好きになってもらえるように、折り合いをつけて話し合いができたことを称賛した。

○ロイロノートのアンケート機能を使って振り返りを行った。

◆目指す児童の姿(思)

話し合いや振り返りの内容から、「めあてに沿った意見であるか、友達の見解と比べながら、いろいろな意見の違いを認め、よりよい方向へ合意形成が図れているか」を評価する。

<振り返り>

S：自分たちで、1年生がもっと沼小を好きになってもらえるような遊びを考えられたのでよかったです。それぞれ違う意見だったけど、合意形成カードを使って友達の意見と自分の意見をくっつけて意見を言うことができました。本番もがんばりたいです。

S：よかったところは、多数決をしないで意見を決められたことです。悪かったところは、近くの人には意見を言えたけど、全体の話合いでは発言があまりできなかったことです。

S：1年生と6年生、両方が楽しめるように、遊びのルールを工夫するなど、条件を付け加えながら話すことも大切だとわかりました。

【事後】 話合い後の活動では、計画委員が中心となって、休み時間や放課後を使って、どうしたら1年生にわかりやすく簡単な説明になるかを考え、工夫する姿が見られた。交流タイム当日は、優しい声かけをする児童や、1年生を楽しませようと工夫している児童が多く、どの活動にも意欲的に参加していた。始まりから終わりまで、1年生のことを考える中で自然と6年生も笑顔になり、「楽しく全員が笑顔」のめあてを多くの児童が達成することができた。

<児童の交流タイム振り返りアンケートより>

- ・1年生に「楽しい？」と聞いたらうなずいてくれて、「うわ～、やってよかった」と思いました。自分の意見が選ばれたのも良かったけど、みんなの意見も聞いて、よい意見もたくさんありました。
- ・しっぽ取りに復活ルールがあつてよかった。(1年生が退屈しないから)。
- ・もし次があるとしたら、今回の遊びは2つとも走ることが多くて疲れてしまうので、何か、クイズとか、沼小のことをもっと好きになってもらえるようなものも考えたいと思った。

4 成果と課題

(1) 成果

①手立て1に関わる成果

- ・議題提案のきっかけとなるクラスアンケートでは、クラスの実態を把握することができるとともに、「学級会で話したいことはありますか」の質問項目によって、多くの児童が自ら提案することができた。
- ・「学級会カレンダー」を設置することで自ら課題を発見することができ、学級会に向けて計画的に物事を進めることができた。

②手立て2に関わる成果

- ・合意形成カードを用いたことが、新たな解決策を増やすきっかけになった。近くの友達と話し合っているときに、「このカードを組み合わせればいいんじゃない」「意見を合わせようよ」など、よりよい解決に向けて友達の意見と比べながら、多様な意見を認め合うことができた。

③その他の成果

- ・机の配置を二重のコの字型にしたことで、近くの人との話合いが活発に行われた。
- ・めあてに立ち返ることを意識させ、話題がそれたときや話合いが膠着したときに教師から助言をしたことも、多数決を行わない話合いにする上で有効だった。

(2) 課題

- ・多くの児童が議題を提案することができた一方で、提案ができていない児童も見られた。また、提案される内容にも偏りがあった。一人一人が自分たちにできることを見付けて議題提案ができるようにするための支援が必要である。
- ・学級会中の教師の立ち位置が不明確であったため、どのタイミングで助言していくか迷う場面があった。児童主体で行う学級会にするために教師は何をすべきなのか、明らかにしておく必要がある。